

ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



みんなでお歌おう!

やっと、春の陽射しが暖かく
感じられる季節になりました



まだ手術の後が痛みますが、いつまでも皆さんにご迷惑を掛けられないので、3月より仕事を始めます。

今回は福岡大学に入学したことを書きましたが、今では福岡大学という医学部もあり、入学するのに結構むづかしいらしいのですが、私の時は私でも入れたのですから、大した事はなかったと記憶しています。

寮に入り何人かの友達も出来、話してみると優秀な学生はいませんでしたが、すっかりしたことを覚えていています。法学部に入りましたが法学部の勉強にはどうしても興味がなく、そのうち文学部でもできたらしらに移ろうと考えていました。試験は先生がここから出すから勉

強しておくようにと教えてくれるのでそこだけ暗記して進級していました。そんな学生生活が私にとつてとても耐えられない退屈なものになり、時間ができれば、福岡のお寺に念仏をさせてもらいに回っていました。

2回生の夏休みに私は大きな決断をします。勉強も中途半端、人生も中途半端、何もかもが無駄な時間の浪費に感じ、大学を中退する覚悟をします。しかし、今までお金を出して応援してくださった方々を大きく裏切ることになる。どうして説得するのか、どうすれば私の気持ちに伝えられるのか悩みました。面と向かって話すのはどうしても出来ず、大学ノ

ートに私の心情を書き、不幸をお詫びし、この御恩は必ず何かの形でお返ししますと記し、それを送って福岡を出ました。人生で最大の不幸を犯してしまいました。夜行列車の「瑞穂」に乗り、翌朝東京に着いた時も晴れやかな気持ちにはなれず、未だにその不幸を引きずっている自分のみつともなく、謝り続けていました。

これは私が何らかの悟りを開いた時が恩返しと思ひ、その後の人生に重くのしかかっております。東京では同じ京都の仏教青年会のメンバーが飯田橋の喫茶店で同じような悩みを持ちながら働いていましたので、そこを訪ねて行きました。彼は京都の呉服屋の息子ですが、私と同じように人生に悩んで、京都を出て東京で水商売に入り、彼なりに修行をしていたのだと思います。「弘さん」と彼は私をそう呼んでいました。「同じ住

座臥の修行をするのだつたら仏教と一番近い職場を選んだらどう？」例えばどんなところ」と私は聞きました。彼は新聞広告を持つてきて、「キャバレーはどうか」と言いました。キャバレーがどんなところか知らない私は「君に任せるよ」と言い、探したところ、錦糸町でキャバレーのボーイの募集をしている記事を見つけました。寮もあるし、ご飯付きだし、お金のない私にはもってこいの条件でした。早速、翌日学生服のまま（それしか服は持っていません）面接に行きました。とても大きな建物で、主任と言う人に面接をしてもらいました。その場で採用となりました。「明日からきなさい」と言われ、喜んで友達に報告し、翌日荷物1つを持って出勤しました。寮に案内されたのですが、寮と言っても一軒家を借りてそこに15人ほど住

むという一人一畳の生活でした。

そのキャバレーはマネージャー1人、主任5人、ボーイ30人、ホステスが200人いる大きなキャバレーです。私の初めての社会での職場の出発点がキャバレーのボーイからのスタートでした。そこでいろいろ楽しい事や苦しい事の経験をするのですがそれは次回に……

籠谷弘

歌声喫茶ともしび

4月の予定日
「西院」(第2、4木曜日)
4月は未定です。
「洛西」(第1、3木曜日)
4月は未定です。

「会員 趣味のホームページ」

より

「あじさい川柳」

仕合せをこぼしているのかハ
トついてくる
人生がやつとわかればもう彼

岸

ぞうきんに独り善がりをふか
れてる

藤本花枝

「コスモス短歌」

空見上げ 澄み渡る青どこま
でも 平和の空へと 我願いつ
つ

柔らかな 落ち葉踏みしめ散
歩みち さざんか咲きし 冬近
しかな

夏終わる 残る命も あとわ
ずか 我らに伝えし つくつく
ぼうしよ

石田禎子

「ひまわり畑」

小鳥鳴く 誘われ起きる寒い
朝

久しぶり 孫の顔見るクリス
マス

お年玉年の瀬に来てくれと言う

山口和子

年明けに友の手術で始まれる
人の命の愛おしき春

短歌詠む叔母の便りは遠退きぬ
卒寿に贈らん拙き一句

光木和子

今日もまた知らず知らずに酒増
える

旅番組次から次へ録画する

堀秀章

「チューリップ畑」

夏の日父と過ごせし憶ひ出や
わが身今なほ 愛授からむ

気づかずに豊かな時代過ごせど
も 心の広さ試されるとき

盆過ぎて 白き朝顔 母のまな
ざし

宮川 敬子

(WEB会員 岐阜県)



写真 宮川敬子さん提供

NPO法人 没イチの会・京都
「会員 趣味のホームページ」案内
趣味のホームページには「あじさい川柳」、
「コスモス短歌」、「ひまわり畑」、「ふじの花」、
「チューリップ畑」があります。
詳しくはホームページをご覧ください。
<http://botuichi.com/utagoe.html>



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都
住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。